

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年9月30日

計画の名称	1 綾瀬市都市公園整備計画	
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象綾瀬市
計画の目標		

綾瀬市発展の経緯となった良好な環境を維持・向上するとともに、水辺や歴史的資源と一体となった地域固有の公園を次の世代に継承していくために、水と緑と歴史・文化的要素が結びついた公園を整備するとともに、子供たちが安全・安心に過ごせる公園を目指すものとします。

計画の成果目標（定量的指標）	・改築等が必要な公園数90公園（H22末）のうち、35公園（H27末）について遊具の改築等を行う。	
----------------	---	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	
H21末で改築等が必要な公園数、及びこれらのうち改築等実施した公園数を算出する。 実施公園数/改築等が必要な公園数	0公園/90公園	35公園/90公園	35公園/90公園	
都市公園（緑地、借地公園を除く）について、公園施設長寿命化計画（遊具を除く）を策定する。 実施公園数/都市公園数（緑地、借地公園を除く）	0公園/98公園	0公園/98公園	98公園/98公園	

全体事業費	合計 (A+B+C)	158.7 百万円	A	158.7 百万円	B	0.0 百万円	C	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	---------	---	---------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
策定主体にて評価を実施	事業終了後 公表の方法 綾瀬市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														
A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	公園	一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	綾瀬市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	施設更新35公園						133.6	
1-A-2	公園	一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	綾瀬市公園施設長寿命化計画策定調査委託	公園施設長寿命化計画策定						6.5	
1-A-3	公園	一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	綾瀬市公園施設長寿命化対策支援事業	施設更新8公園						18.6	
合計												158.7		
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-2	公園	一般	綾瀬市	直接	綾瀬市	サイン等設置事業	サイン等設置30公園						0.0	
合計												0.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		
1-C-2	1-A-1（綾瀬市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業）で改築を行った遊具及び公園を子供たちが安全に使用できるようにサインの整備を行います。													

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>本事業の基幹事業である「綾瀬市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」及び「綾瀬市公園施設長寿命化対策支援事業」においては、遊具の改築を行うことにより、子供達が安全・安心に過ごせる公園の整備が図られ、また、「綾瀬市公園施設長寿命化計画策定調査事業」においても、遊具以外の施設の長寿命化計画を策定することにより、今後の公園施設全他の適切な維持管理についての事業促進が図られた。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標① (実施公園数/ 改築等が必要な 公園数)	最終目標値	35公園	目標値と実績値 に差が出た要因	対象公園の選定にあたり、定期点検の結果を加味したところ、小規模遊具の設置してある公園が対象となったため、目標を上回る結果となった。
		最終実績値	36公園		
	指標② (実施公園数/ 都市公園数(緑 地、借地公園を 除く))	最終目標値	98公園	目標値と実績値 に差が出た要因	当初の事業実施箇所を市内全公園としていたが、計画策定後の実施可能な事業量を踏まえて、実施箇所を市内の主要8公園に絞ったため。
		最終実績値	8公園		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
平成32年度まで長寿命化計画が策定されていることから、今後も公園施設の改築を進めていく。また、長寿命化計画策定から時間が経過しているため、実情に合わせた計画の見直しを行っていく。					